



新年のごあいさつ

「住んでいて良かった」
「住んでみたい」と思えるまちに

伊予市長 中村 佑

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新年を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろは市政の推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成17年の合併以来、「第1次伊予市総合計画」に基づき様々な施策を進めてまいりましたが、昨年、これまでの事業の見直しや新たな行政需要へ対応するために実施計画の見直しを行いました。計画期間の折り返しを過ぎ、今後、総合保健福祉センターや庁舎建設といった事業の具体化を図っていくとともに、各種施策の推進・実現を目指していききたいと思います。

一方、低迷する景気の中にあつて、本市の財政状況は依然厳しいものがあり、一層の行財政改革の推進が求められています。少子高齢化、過疎化が進行する中、市民の皆様のニーズに適切に対応していくために、これまで以上に改革に取り組んでまいります。

さらに、国の進める地域主権改革にも対応していかねばなりません。地域主権は、地域の経営能力が問われるものであり、市民の皆様一人ひとりの協力なくしては実現し得ないものです。そのためにも、これまで進めてまいりました「参画と協働の郷(くに)づくり」を推進し、行政と市民・団体等が、適切な役割分担のもと、力を合わせて地域社会の創造に努めることが必要不可欠であります。

「住んでいて良かった」「住んでみたい」と思っていた、だくことのできるまち、本市の将来像である「ひと・まち・自然が出会う郷(くに)」を創っていくために、これからも努力してまいりたいと考えておりますので、皆様の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、平成23年が、皆様にとりまして幸多い年になることを祈念いたしまして、新年に当たつてのご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、本会議会に対し、温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

早いもので改選以来、私どもの任期も半ばとなり、市政発展はもとより、心豊かなまちづくりを目指して、各種の施策に取り組んでいるところでございます。

さて、国では、政権交代から一年数か月が経過し、この間、事業仕分け等による事業見直しを行っていますが、仕分け結果が反映された事業は少ない状況でございます。また、政治と金の問題や、ばらまき型の政治が依然続いており、国民のための真の政策が打ち出されておらず、景気低迷からの脱却の見通しがたない状況であります。

一方、本市でも少子高齢化、過疎化が中山・双海地域を中心に進行しており、一次産業の後継者対策、交通手段のない高齢者の交通の便の確保など、10年後

20年後を見据えた対策が喫緊の課題となつております。

行政を取り巻く環境も大きく変化し、地方分権が進む中、なお一層、議会としての果たすべき役割をしっかりと認識し、市議会の機能の充実及び改革を図り、行政との連携を密に政策の提案もしながら、主要施策の推進に全精力を傾注してまいりたいと存じます。

私も市議会議員、一人ひとりがモラルはもとより、日々更なる自己研さんに努め、市民の皆様のご意見を公平公正に集約して、信頼される議会づくりに取り組んでまいります。

きのうの続きできょうという日々を生きるのではなく、新春の希望に満ちたあすをしっかりと見据えて、がんばつてまいる所存でございます。

最後に、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、併せて伊予市の更なる発展のため、一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

皆様のご意見を公平公正に集約し、信頼される議会づくりを



伊予市議会議長 久保 榮